

京都教区時報

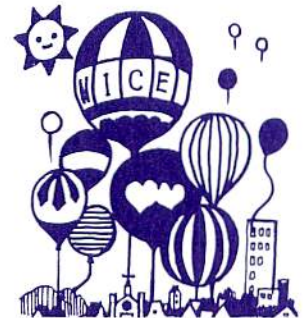
第162号
第163号
合併号
田中司教認可
毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨
編集 カトリックきょうと福音センター 住所 京都市中京区壬生瀧田町26 Tel 822-7123

福音宣教推進全国会議

だい かい かい さい ち
第2回ナイスの開催地は
長崎(ながさき)に
決定しました。
テーマは「家庭」です

NICE=
(National Incentive
Convention for
Evangelization)



新年おめでとう
ございます

司教総代理 村上真理雄

教区のみなさんに心から新年のおよろこびを申し上げたいと思います。一昨年の暮には、たしか壁をこわして橋をかけようと、大きな喜びと期待を表わしたと思いますが、今年はまた、平和への危機感をもちながら迎える年となりました。昨年の重苦しいニュースは、やはり湾岸情勢と、世界の対応の問題であると考えます。日本は本当に平和でしょうか？ いや見せかけの平和にすぎないと思います。日本の教会では、1993年の仮称「家庭」というテーマをかかげて第2回ナイスに向けて、今着々と準備がされています。私たち京都教区も、これに全面的に協力して行きたいと思っています。第1回のナイスは京都で行われ、みなさんの大変なご努力をいただきました。第1回ナイスの実践ができていないのに、また第2回なのという声もありますが、何もできていないと責めるのではなく小さいながらも、少しずつ実践されているものもあり、それは評価しつつ、また、まだまだ足りない点は、充分に反省して、更に努力して行きたいものです。真の平和への実現は、その単位である家庭から始まらなければなりません。つきとめて行けば、これほどむずかしいテーマはないと思いますが、聖霊の導きに従いながら、真剣にこれと取りくんで行きましょう。関西の「おきばりやし」には、一種独特の味があります。人におきばりやしではなく、みんなでおきばりやしやまひよな、この意味でよい年でありますように。

一九九一年 新年にあたり

第2回 ナイスをむかえる準備のために

テーマ 家庭

第1回ナイスを受けて、その後の各地の動きを評価分析し、検討した結果司教団は第2回ナイスのテーマを「家庭」とする事を決定した。

第1回ナイスと同じく「聴き、吸い上げ、活かす」と言う基本姿勢に基づき、出来るだけ多くの人々の声を聴くことから始めたいとの主旨の司教団の呼びかけが、1990年8月15日付けで発表された。この全文と、濱尾司教の解説が8月19日発行のカトリック新聞に記載されている。

なおなぜ「家庭の福音化」とか「家庭からの福音宣教」ではなく「家庭」という漠然としたものにしたのかと言われるかもしれないが、それは「現実の生活と信仰とが、ピタッとくるようになるために、まず皆さんが生きておられる家庭がどのようなものか、さらに家庭にまつわる地域との関わりなどなどお互い同志耳を傾けることから始めて頂きたい……。」からです。

さて、全国会議事務局(小田師)各司教、教区事務担当、及び、広報担当者あてにとどいた今後の動

きをここに紹介する。

11月末日 教区ごとの司祭の意見をまとめた報告書、及び、教区担当者を提出すること

注・京都教区は、柳本昭師任命

12月 臨時司教総会

第1回ナイス以後の動き総括

第2回ナイス開催地、時期決定

1991年

1月 各教区報告書のまとめを

教区担当者にもどす

2月～4月 三管区司祭会議開催

6月 司教総会

全国会議規約検討、発表

各教区に課題案作成依頼

10月末 各教区課題案提出締切り

12月 臨時司教総会

公聴会記録、課題案検討

主題の「切り口」発表

小共同体での討議開始依頼

1992 10月末 中間報告書作成。提出

各母体意見調整開始

12月臨時司教会

代表者母体発表等

1993 初春 各母体よりの発表案と代表者名提出

春から夏の間に第2回ナイス

春から夏の間に第2回ナイス

「京都越冬」に

「ご協力ください」

5年前の冬より「京都越冬」を行って来ます。日常的に野宿によって健康を悪くされ、それが冬の気候によりいっそう身体が弱わり、死にいたる場合も少なくありません。

夜まわりは主に京都駅周辺と四条河原町周辺で行い、越冬期は12月20日から1月10日ごろまでを予定して来ます。その後も定期的に夜まわりなどの活動を行っていきます。

取り組みへのご参加と毛布・防寒着・下着・カイロ・炊きだし用の安全な食料などの物資・現金カンパをお願いいたします。

問い合わせ先

☎075(671)8483 本田次男か
☎075(491)1877 小山教会まで
日雇労働者の人権と労働を考える会
きょうとキリスト者夜まわりの会

むすびや

家庭は大切

寺尾 総一郎

さる6月の全国司教会議で、第2回福音宣教推進全国会議(ナイスⅡ)が1992年秋から翌年にかけて、「家庭」をテーマにして開かれることが決まったそうです。そんなこともあって京都教区にも家庭委員会が発足しました。

私たちにとってもっとも身近な生活の場は家庭であり、もっとも親密な人は家族ですが、現代特有の問題を多く抱えています。家庭や家族を従来の伝統や法律や教会の教えのわくの中で位置づけることを否定する現象も目立ちます。しかもこのような現象は日本だけではなく、中・先進工業国に共通なものです。結婚・性・出産・育児の分離した考え方(非婚化)、離婚の増加、制度としての結婚の回避や晩婚化、それらが結果的に産児数の減少に拍車をかけていること、人口構成の高齢化に伴う家庭・社会への重圧などです。

信者の家庭の問題としては、同じ目標や価値観(信仰)を持った相手との結婚が困難なこと、それに伴い子供に信仰を伝えること

困難、仮に双方が信者であったとしても学歴社会における受験競争や様々な子供の行事のために信仰育成は後手になり、外には宣教と励みながら、信者の2世・3世には使徒職を自覚させ実践させることが困難なこと、その他、離婚し再婚している方の秘跡への参加、受胎調節の問題など沢山あります。これらの問題の背景には様々なことが絡んでいるでしょう。例えば、男女・夫婦間の人権に関わる性差別に対しての無頓着さやそれを許容する社会、家庭よりも仕事中心の社会、仮に多くの子供がほしくても教育に金のかかりすぎる社会などです。

教会(司祭)もこのような家庭状況にどう対応してよいのかわからない現状、多くの教会の組織は壮年会・婦人会といった家庭を分断する方式、信徒会の役員の方はせっかくの休日にも家庭サービス時間が削られがちで、これは特に片方だけが信者の夫婦には大きな問題です。

このような状況をふまえて今度

のナイスⅡは何を目指したらよいのでしょうか。具体的には、実際に家庭生活を営んでおられる方のご意見・ご提案に期待したいと思います。ですが、それに当たって信仰を持つ者としての前提はこんなことではないでしょうか。家庭の危機が言われながらも、家庭は相変わらず、神が祝福されている一番素晴らしい愛の共同体であるという事実です。換言すれば、隣人を自分を愛するように愛し、自分の配偶者を自分の体の一部として、生涯忠実に愛さなければ、家庭は成り立たないということです。教会はこれが可能な恵みをいただけるように結婚を秘跡の一つに加えました。信者の夫婦・親子はそのような家庭を築く努力をすることによって、社会に家庭の尊厳を証し、問題点の改善を求めていけると思っています。これこそが家庭人の宣教そのものではないのでしょうか。



かてい
「家庭」について
みなさんのご意見なんでも
お寄せ下さい

きょうと きょうく し ほうへんしゅうぶ
京都教区時報編集部

更に、青年の方は自分が神から新しい家庭を創るように望まれているのか、神の国のために独身で働くように望まれているのか、よく祈られるべきだと思います。
信者の家庭のあり方を考える本として、名古屋教区家庭委員会編著「愛といのちを育てるために」(新世社刊、500円)をお薦めします。
(京都教区家庭委員会担当司祭・園部教会司祭)

お知らせ

教区スケジュール

12月	24~25日	クリスマス大祝日
1月	1日	正月元旦ミサ
4日		司祭評議会
15日		司祭・修道者懇親会
15日		青年センター発足2周年記念日

もちつきとミサで祝う 青年センター発足2周年

日時 '91年1月15日
午後1時~4時

場所 西院カトリック会館
青年センター ☎075-822-6246
みなさん おこしく下さい

黙想会のご案内

- ◎ 1月14日(日) PM 7時30分~15日
テーマ キリスト教者の使命
指導者 ラバデー師
 - ◎ 2月23日(土) PM 7時30分~24日
テーマ キリストと私
指導者 ポアベル師
 - ◎ 3月10日(日) PM 1時~5時
テーマ キリストがもたらされる解放
指導者 ナド師
 - ◎ 4月28日(日) PM 1時~5時
テーマ 福音との祈り
指導者 ガレロン師
 - ◎ 5月26日(日) PM 1時~5時
テーマ 人のために生きる
指導者 Brイグナチオ
 - ◎ 6月15日(土) PM 7時30分~16日
テーマ 祈り方二種類
指導者 ラバデー師
- ▼対象 青年男性信徒(高3以上)
▼申込・問合わせ 聖ヴィアートル修道会 ☎京都市北区北野上白梅町5 ☎075(463)0567

カトリックきょうと福音センター もよおし一覧

講座・教室名	会費	日時
マタイ講座	1回 300円(250円)	(木) PM 2:00~3:00
きょうしつくらし	1回 500円(450円)	(水) PM 10:30~12:00
典礼講座	12/8~9 1,500円(1,300円)	12/8(土) 13:30~18:00 12/9(日) 10:00~15:00
書道教室	月謝 2,000円(1,800円)	(金) PM 1:30~4:30
手話教室	月謝 1,000円(900円)	(火) AM 10:00~12:00
自己発見	全8回 4,000円(3,600円)	(金) PM 1:30~4:00

- ★()内の料金は福音センター友の会会員の割引金額
 ★マタイ講座日程 1月24日
 ★きょうしつくらし日程 1月16日(食品添加物)
 2月20日(みそ作り実習)
 3月13日(水について)
 4月17日(下水処理場見学)
 5月15日 6月12日 7月10日 8月21日
 ★自己発見日程 1月11日 2月15日 3月8日 4月5日
 5月10日 9月6日 10月11日 12月6日
 ★手話教室 1月8日開講
 ★書道教室 1月11日開講

▽指紋と人権を考える会 定例公開学習会のご案内

日時 1月20日(日) AM 11時から
場所 小山教会伝道館
テーマ 在日韓国・朝鮮人の民族教育について

発題者 姜 聖律さん(在日大韓キリスト教)

▼なぜ民族教育が必要なのか。いまだどんなとくりくみがおこなわれているのか。日本人も朝鮮人もいつしよに考えてみたいと思います。

▼参加費 無料
▼どなたでもおこしく下さい。



新しき年、子羊の祝う間に、子羊は無力でおとなしく従順で。そんなイメージでとらえるんですね。ところが子羊は犠牲となる。そんなイメージを忘れがち。みよ神の子羊よ、と言う時どんなイメージで語るのですか。今年、羊の年だとか。無力な子羊か。将来犠牲の子羊となるか。(M)